

県立岩国総合高等学校の概要

1 本校について

本校は昭和51年4月、全日制普通科の山口県立岩陽高等学校として開校した。その後、特色ある学校づくりをめざして平成12年岩国総合高等学校に改編、山口県で2番目の総合学科として再出発し満10年を迎えた。

校訓:「自立」、スローガン:「見つけよう夢、見つめよう未来」のもと、新たな教育活動の実践に日々取り組んでおり、「キャリア教育の推進」を主な目標として掲げ、充実した進路学習への支援を進めている。

学校規模は各年次3クラス定員120名で、約360名の生徒が在籍、女子生徒が約7割を占めており、1年20人×6学級、2・3年30人×各4学級としてホームルームを編成、授業は1年次英語・数学は20人クラス、課題研究は10人クラス、進路に必要な科目は受講者1人でも開講（原則は5人以上）している。

進路先は大学・短大、専門学校、就職が同数程度で、多くが地元・近郊に進んでいる。

2 本校キャリア教育のめざすもの

本校キャリア教育がめざすのは、生徒一人ひとりが「自ら課題を見付け、学び、考え、見通しをもって判断・行動し、課題をよりよく解決する資質や能力を育む」、そして「課題解決的な学習活動を通して、自己に対する自信や誇りをもち、自らの在り方生き方を追求し、主体的に進路決定ができる力を身に付ける」、すなわち「生きる力」を体得することであり、卒業後も生涯にわたり学び続け、困難があっても自分の人生を自力で切り開いていけるようにすることである。

3 調査研究のねらい

(1) 本校のキャリア教育の充実改善を図る。

- ア キャリア教育推進に向け、教員のキャリアガイダンス、キャリア・カウンセリング能力向上を図るための教員研修の充実
- イ 「産業社会と人間」「Wise Person21（総合的な学習の時間）」の内容についての精選・再構築

ウ 3年間にわたる有機的なつながりをもたせたキャリア教育のための組織の確立
 (2) 外部人材活用の在り方の研究と、進路意識の醸成や進路実現のための有効な支援法の探究を進める。

- ア キャリア・カウンセラー活用の在り方についての研究
- イ 外部の人材の活用の在り方についての研究

キャリア教育の効果的な指導内容・指導方法の充実・改善

【取組内容】

1 課題探究学習の充実

(1) 3年間の学習の流れの確立

ア 1年次[夢発見]～学び方を学ぶ～

自己をより理解し、自己の夢や希望を明確にして、学ぶことや働くことを理解し、学力の向上と進路実現をめざしたライフプランの立案を目標とした。

イ 2年次[深化]～学習力を養う～

主体的な調査・研究や体験学習を通じて「学習力」を養うことにより、「ライフプランに基づく希望進路」を実現するための力の修得を目標とした。

ウ 3年次[挑戦]～課題解決能力を養う～

それぞれの課題についての知識や技能を深め、人間としての在り方生き方について創造的に探究できる能力の修得を目標に、総合学科での学習の総まとめとして、「課題研究学習」を実施した。



課題研究発表会

課題研究の年間学習内容

① 課題を設定する	② 年間計画を作成する
③ 物事のとらえ方を知る	④ 現代の諸問題を考える
⑤ 研究の手法を学ぶ	⑥ 文章のまとめ方を学ぶ
⑦ 新聞を読む・まとめる	⑧ 書籍を読む・まとめる
⑨ フィールドワーク	⑩ 夏休み活動報告
⑪ 効果的な発表の仕方を学ぶ	⑫ ゼミ内で発表する
⑬ 全体発表会	⑭ 最終レポート提出

課題研究の講座別テーマ例

国際	後期高齢者医療制度について
芸術	パッケージデザインについて
文化	朗読について
自然	死を待つ犬・猫達
情報	音楽の与える心理的効果
経営	紙の秘密兵器
スポーツ	救急現場の現状
健康	掌蹠膿疱症性骨関節炎
生活	綺麗肌
保育	夢で心理を知る
福祉	コミュニケーションの達人になる
社会	子どもの名前について

課題研究の生徒評価



(2) 大学教授等による現代の諸問題についての講話

内 容	講 義 テ ー マ
環境問題	ごみから見直すわたしたちの暮らし
エネルギー問題	環境にやさしいエネルギーとは
福祉問題	高齢化社会・少子高齢社会とは
医療問題	現代の医療の諸問題
食料問題	食料自給の現状とその課題
教育問題	小学校・幼稚園の課題
日本語の問題	コミュニケーションと文章表現
政治問題	今後の日本政治のゆくえ
経済問題	日本経済の今後と問題点
異文化理解	アメリカの異文化問題
情報・科学技術	私にちょうどフィットした情報は

1年次生は進路を考え、本校での課題解決の学習活動への契機とするため、2年次生は3年次での課題研究のテーマ決定のヒントを得て進路実現に向けた学習意欲を高めるため、3年次生は研究の深化及びライフプランをより深めるために実施した。

(3) 大学・専門学校講師等による学問・研究内容及び方法についての解説

ア 各年次における進路講演会

4月	分野別説明会 学校説明会	2分野を受講(2年次生) 3校を受講(3年次生)
9月	出前講義(23分野)	全年次生
11月	現代の諸問題に関する講義	全年次生
3月	進路別講演(6種)	1・2年次生

3年次実施の課題研究のためのテーマ選定や考察の示唆を得る。また、様々な社会の問題を知り、解決に向けたアプローチを知る。進路選択の参考及び希望進路について深く理解し、これから何をしていけばいいか、情報を得るために実施した。

進路説明会(自分がこれから何をしたいかわかったか)



イ 課題研究を進める上で参考となる大学、専門学校の講師等による講演・講義

	講演会のテーマ	講 師
4月	卒業研究の進め方、論文の書き方	大学教授
5月	記事のまとめ方、新聞の読み方	新聞記者
6月	大学生による自主的なプロジェクトの発表	大学生2名

(4) 職業人による講話

地域の特性、環境に関する講演及び岩国市や山口県をより深く理解するための講演

	講演会のテーマ	講 師
5月	私たちの愛する岩国のために	岩国市長
2月	岩国市の現状と今後	岩国市議会議員

(5) 卒業生・上級生による講話

4月	上級生講話	産社の取組について
6月	教育実習生講話	大学で学ぶということ
1月	卒業生講話	大学で学ぶということ
2月	上級生講話	私の受験合格体験

身近に感じられる上級生・卒業生の講話により、高校生活への取組や将来への展望について学ぶことを目的に実施した。

(6) 将来を見つめるための小論文指導

国語科の教員の事前指導に続き、希望する3年次生徒に対して全教員が指導に当た

る。その中で教員と将来の生き方等について話す生徒たちの姿が毎日見られた。

(7) 将来を考えるためのカウンセリング週間

5回の定期考査前各1週間をカウンセリング週間とし、生徒・保護者と担任、キャリア・カウンセラー等との進路、科目選択、学校生活にかかわること等の面談を実施した。

(8) キャリア教育の視点を含んだ新しい修学旅行への取組

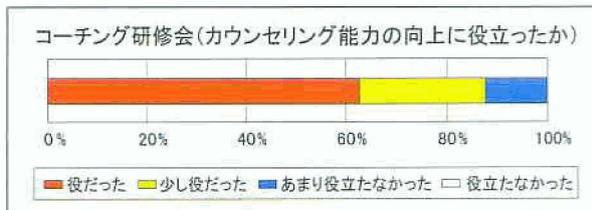
沖縄の学習を通して日本をより深く考える。また、沖縄について学ぶとともに地元岩国についても理解する。夏休みには沖縄についての研究を、冬休みには沖縄についての読書を課題とするなど事前学習を進め、「沖縄を学べば世界がわかる」をモットーに取り組んだ。

2 キャリア・カウンセリングの充実

外部講師による「キャリア教育の進め方」に関する教員研修

行事	研修内容	講師等
キャリア教育研修会	キャリア教育概論とカウンセリング	関東の大学教授
カウンセリング研修(3回実施)	コーチングを取り入れたカウンセリング	専門学校教務主任
課題研究研修会	課題研究の充実	関西の高校進路主任

キャリア教育の必要性について再認識し、キャリア教育実施に向けての共通認識及びモチベーションの高揚ができた。また、キャリア・カウンセリングの演習を通して、どのようにカウンセリングをすれば、より生徒との関係を良好にして効果が上がるかを学ぶことができた。



3 地域の力や社会人・保護者の教育力の利用

(1) キャリア学習の動機付けとなる夢の実現にかかわる外部人材による講話

ア 1年次生対象

	講話のテーマ	講師
第1回	今までの生き方	菓子店経営者(青年海外協力隊経験)
第2回	化学に魅せられて	企業勤務の化学研究者
第3回	エッジを立てろ	企業経営者
第4回	職業人講話「プロフェッショナルに聞く」	地域で活躍中の方6名(看護師、菓子職人、保育士、大工、旅行業、JICA職員)

イ 2年次生対象

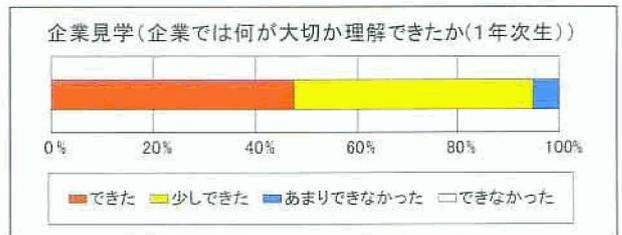
	講話のテーマ	講師
第1回	心豊かに生きるために	飲食店オーナー
第2回	君たちに期待すること	幼稚園経営者

(2) 職業理解・職業人の生き方について学ぶため、企業見学の実施

企業についての様々な情報を得て、生きた知識とした。また、見学を通して自主的に自己の進路を選択する能力や態度を育て、あわせて、コミュニケーション能力や社会に積極的に参加する意欲や態度を養い、自らの勤労観や職業観の形成を図るとともに、今後の進路設計の一助とした。

ア 1年次生が岩国近郊の企業を見学

コース	訪問先(午前)	訪問先(午後)
1	紙・パルプ製造工場	化学製品製造工場
2	合成繊維製造事業所	化学繊維製造事業所
3	紙製品製造工場	火力発電所



イ 2年次生が県東部の企業を見学

コース	訪問先
1	鋼鉄製造工場
2	ステンレス製造所
3	総合化学製造事業所

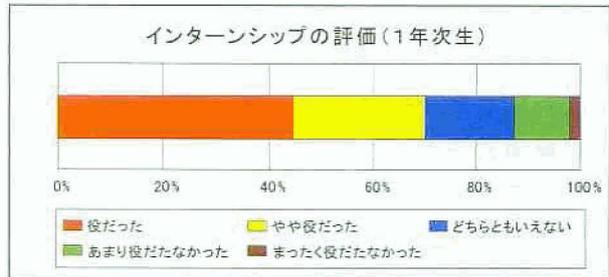
(3) 職業理解・ライフプランを考えるため、インターンシップ実施

ア 1年次生全員が2日間、秋休みを実施。業種は幼稚園、病院、介護施設、美容室、農園、空港、書店、楽器店、編集社、

小売店、体育施設、小学校、中学校、郵便局、消防署、警察署、図書館、飲食店等の多岐にわたり、事業所の数は63事業所に及んだ。

生徒一人ひとりの希望が叶うように担当が依頼先を探すことを目標とした。そのため、体験先は多岐にわたり、担当者の負担は相当大きい。この取組は、職業に対する意識を深め、自己の適性を知る（生涯働くことを念頭に入れた進路選択に主体的に取り組む態度と能力を身に付けるとともに、社会に積極的に寄与しようとする態度を身に付ける）上で大変有意義で、生徒の「自主性」や「生きる力」を引き出す上で最も重要な学習の一つと位置付けている。事前の打ち合わせ、事後のお礼、発表会等も含め力を入れた。

の進路を考える上での参考となった。受入先企業からは「何をするにしても積極的に学ぼうという姿勢がみられ素直で好感がもてた」「あらゆることを吸収しようとする気迫がみなぎっていた」「一緒に仕事をしていてすがすがしく気持ちよかった」との報告をいただいた。



(4) 将来の進路を考えるための上級学校見学 (1年次生)



コース	訪問先	
1	文系大学	ビジネス系専門学校
2	工業系大学	ビジネス系専門学校
3	経済系大学	情報系専門学校

各自の進路を考える上で上級学校とはどのようなところか、またどんなことを学ぶのかを知った。

イ 2年次生希望者を対象に8月に実施
業種は病院、幼稚園、飲食店、美容室、小売店、ホテル、スーパーマーケットなどであり、8事業所で実施した。

1年次でのインターンシップとは異なり希望者のみ、そして5日間程度の期間での実施。労働体験を通して働くことの楽しさ、厳しさを知り、何が大切なのかを得ると同時に、社会人基礎力(コミュニケーション能力、責任感、行動力、マナー)を学び、お客の立場、働く側の立場を経験することにより相手を理解し、客観的に自分を見ることの大切さを学ぶことを目標とした。またこの体験は将来

【成果】

- 1 キャリア教育推進委員会の設置
この事業の各年度の目標の確認、各行事の検討、課題の明確化及び3年間を見通したキャリア教育推進体制の確立ができた。
- 2 外部の人材による講演及び研修会の開催
キャリア教育の充実に向け、教員の意識高揚が実現できた。
- 3 校外の人材を活用した講演会の実施
地元企業人の講演会を実施し、子どもたちの夢探しとその実現のための支援ができた。
- 4 校外活動の実施
企業見学、学校見学、インターンシップの実施により、一人ひとりが将来の生き方について深く考えることができ、ライフプランの作成に役立った。

【課題及び今後の取組】

1 本校キャリア教育のまとめとしての課題研究の一層の充実・改善

課題研究がキャリア教育の集大成であるとの自覚をいかに生徒にもたせるか、教科の授業との連携・関連をいかにとるか、AO・推薦入試への自信につながる学習への導き方、意欲的な研究のためのサポートの仕方、小論文学習（社会への関心、論理的思考力の養成）に対する重要性の認識、課題解決型の授業や実験実習を重視した体験型授業を通した自ら考えることの奨励。

2 学習意欲をさらに高揚する方法

学習状況調査の活用、総合ノート（学習状況、目標等の記入）の活用、得意分野を伸ばす指導、検定試験の積極的受験及び効果的な指導、ライフプラン作成に基づいた具体的な努力につなぐ指導。



3 具体的な夢や目標の設定の方法

ライフプランの内容は年次とともに高まっているかについての検証の継続、職業観・人生観をいかに育てるか、各種行事の運営に対し生徒を意識的に関与させるような体験活動の検討、ボランティア活動や地域行事への参加など校外での学びの促進。

キャリア・カウンセラーの活用の在り方

【概要】

1 募集方法及び求める人材像

平成19及び21年度は1人、20年度は進学関係と就職関係を分けて2人の方が勤務。

- (1) 元就職指導専門員（平成19～21年度）
元中学校スクールカウンセラー室勤務
- (2) キャリア・デベロップメント・アドバイザー有資格者（平成20年度）
元一般企業総務課勤務、専門学校キャリアサポート室（進路支援室）勤務、登録キャリア・カウンセラーとして専門学校勤務。

- 2 校務分掌上の位置付け及び配置場所
進路課所属のキャリア・カウンセラーとして進路ガイダンス室及び相談室で業務に従事。

3 活用回数及び活用方法

- (1) 毎週1回、年間30日程度勤務。指定した生徒及び希望した生徒について実施。
- (2) 年間5回のカウンセリング週間に連続4日間、計20日間勤務。

【活用状況】

1 生徒の相談状況

- (1) 昼、放課後の指定面談（2年次生就職希望者及び進路未定者）及び放課後の進路相談（2、3年次生）。
- (2) 放課後の指定面談（生徒や担任からの希望によりスケジュール作成）。3年次生8名、2年次生7名が面談。主な内容は、やりたいことが見つからない、進路について、経済的な問題、どんな学校がよいか等。

2 教員の活用状況

進路課長をはじめ課員等と常に連携をとりながら、生徒との進路相談情報の共有を図った。また、年次の担任教員へのカウンセリングに係る情報提供を進めた。

【成果】

各年次生とも、希望進路の定まってきた生徒が大幅に増えた。また、進学については学ぶことの意義、就職については働くことや共に生きることの意義を考える等、目的意識をもった生徒が増えた。

3年次生については、進学・就職希望者ともに早期に進路を決定することから、進路未定者が激減した。また2・3年次生ともに、進路未定者が面談を通して自ら進路について考えるよ

うになった。

さらに、就職希望者はより早期に具体的な情報を得て、取り組むべき課題の明確化ができた。進路全般について、教員には話しにくい内容をじっくりと時間をかけて聞いてもらえ、自身で悩みの解決ができるようになった。

「進学したいが、家計を考えて就職する」と話す生徒もいる。昨今の不況が生徒の進学に影響を落としている。2年次生も秋を過ぎると、過去の自分を反省し前向きに取組を始める生徒が目立つ。ゆるんだ生活態度を見直し、残りの学校生活を学業に打ち込むと決意した者もいる。

しかし、自力ではどうにもならない状況が自身の肩に重くのしかかり、進路選択に悩んでいる生徒もいる。生徒たちの小さなつぶやきも見逃さない感性をもち、一人ひとりに寄り添って支えていただいたことは誠にありがたかった。

【課題及び今後の取組】

教員がカウンセラーに頼り過ぎた面があり、カウンセラーと担任や保護者との連携が十分とは言えなかった。カウンセリングを受けた生徒の面談及び担任等による追指導が不十分だった。また、相談室等の環境も整備不足だった。教員とカウンセラーとのカウンセリングの使い分けが難しい面もある。

カウンセリングカード導入の必要性、また、カウンセリング後のケアの充実に向け、担任と生徒との面談につなげるよう、担任とカウンセラーがきちんと連携する必要がある。

その他の取組

1 PTAによるキャリア教育を考えるための企業・大学等への訪問

PTA進路委員と相談して訪問先を決定し、保護者と教員とがコミュニケーションを図る上でも効果があった。

H21	女子短期大学	ソース製造工場
H20	ビジネス系専門学校	酒製造所
H19	文科系私立大学	美容専門学校
H18	県立大学	自動車製造工場

2 保護者に対する進路情報の提供

学校Webページによって進路行事をはじめとした様々な情報を発信するとともに、講演会等ごとに文書で案内を出している。

総合だより	学校の諸行事	校長発行	年6回
進路だより	キャリア教育関係	進路課発行	年6回

3 生徒の意識変容等についての検証

(1) 卒業後の動向調査等による本校キャリア教育の検証（評価）に関する研究

総合学科1期卒業生及び18～20年度新規卒業生に対し夏休み前に往復はがきを送付し、現況等の報告を受けた。

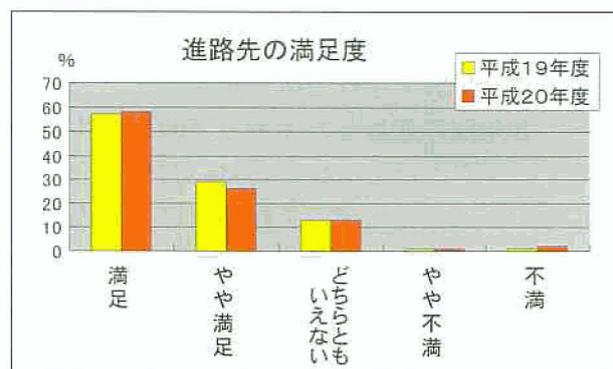
ア 高校時代の体験で役立ったこと（その体験が進路決定とどう結びついたか）

役立ったこととしてあげられたのは、体験学習（今の仕事をしたいと思うようになった）、課題研究（知識や技術を身に付けることができ、自信につながった）、職場体験（希望の職業が明確になった）、講話（多くの方のお話を聞いて、大学に進学して勉強したいと思った）、インターンシップ（自分の夢を叶えたいと決意できた）、などであった。

イ 「産業社会と人間」や「課題研究」の授業を通してどのような力が身に付いたか

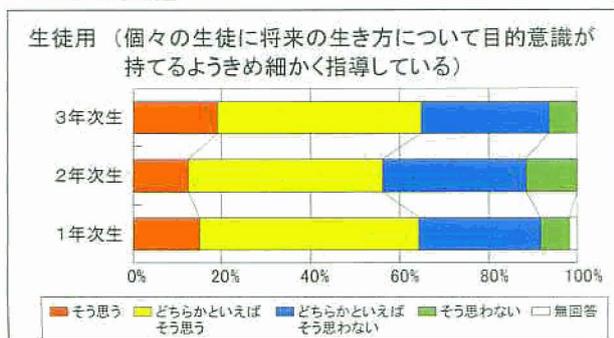
身に付いた力としては、考える力、実行する力、課題発見力、問題解決力、いろいろな生き方、調べてまとめる力、将来の自分について常に考えようとする力、言葉や文章で表現する力、などがあげられた。

(2) 3年次生進路決定者に対するアンケートの実施

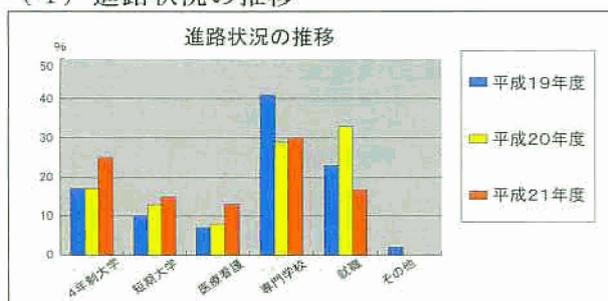


決定進路の満足度はどうか、課題研究に対する取組はどうかについて集計した。

（3）生徒、保護者、教員に対する評価アンケートの実施



（4）進路状況の推移



4 本研究3年間の取組成果の発表

（1）外部施設を利用した課題研究等の発表会の実施

平成22年1月に外部のホールを利用した3年次生による課題研究の取組及び3年間のキャリア学習の成果の発表会を全校生徒並びに保護者、地域に公開して実施した。

（2）全国高等学校総合学科研究大会における3年間の取組成果の発表

平成21年11月に宮崎県で開かれた全国高等学校総合学科研究大会で本事業の成果を報告した。

第三分科会：進路指導の在り方について
発表題：総合学科の特性を生かした有機的な進路指導の展開－キャリア教育で学校を活性化する－

3年間の連続したキャリア教育は生徒に十分手をかけた取組であり、日常の先生方がのびりと生徒の笑顔が目に見えたとの講評をいただいた。

またこの発表資料の抜き刷りを山口県内のすべての高等学校等に配付した。

（3）やまぐち教育セミナーにおける研究発表
平成22年2月に山口県セミナーパークで開催されたやまぐち教育セミナーで本事業に係る研究発表を行った。

発表題：高等学校における有機的なつながりのある取組によるキャリア教育の展開－個を生かして未来を創造する－

まとめと今後に向けた取組

1 まとめ

総合学科としてキャリア教育の枠組みはほぼ完成したと思われるが、「産業社会と人間」の授業のみならず、他の教科やその他の指導の中で効果的な指導方法・指導内容についても研究した。また、本校のキャリア教育推進に協力を仰ぐため、教育内容等を紹介したリーフレットを作成し、関係方面に配布した。

キャリア教育全体計画のもと、キャリア教育年間計画を立案して企画の検討・検証を実施し、その中で、キャリア教育推進委員会を中心に各年次の実情に応じた計画を再検討し、手直しを加えながら進めた。

進路課の担当者を中心に、委員会の方針に基づいた「産業社会と人間」「総合的な学習の時間」の計画を立案し、それを各年次に提示することにより、一貫した目標・目的をもって諸行事の運営、反省・検討ができた。

2 成果

講話を聞いたり、進路説明会に参加したりすることによって将来を考え、企業を見学し、職業を体験することによって学校の中の学習に留まらず地域を知り、広い意味での学習意欲の向上につながった。

また、課題研究を中心とした課題発見・解決学習により、自己学習・コミュニケーション・プレゼンテーションの能力を高めることができた一方、教科の学習内容を課題解決のために活用することにより、自主性や思考力を高めることができ、さらに、様々な取組を

生徒が高等学校段階での「4領域8能力」を身に付けるために学校として取り組んだこと								
具体的な取組	人間関係形成能力		情報活用能力		将来設計能力		意思決定能力	
	自他の理解能力	コミュニケーション能力	情報収集探索能力	職業理解能力	役割把握認識能力	計画実行能力	選択能力	問題解決能力
職業人講話	○			○				○
卒業生講話			○			○	○	
上級生講話		○	○			○	○	
ピアセミナー	○	○			○			○
進路説明会			○	○				○
企業見学会		○	○	○				○
インターンシップ	○	○		○	○	○	○	○
出前講義			○					○
上級学校見学		○	○		○			○
ライフプラン発表会	○	○				○	○	○
キャリアセンターの設	○							○
現代の諸問題の講義			○					○
クラスde研究		○	○			○		○
課題研究		○	○			○		○
課題研究発表会	○	○	○			○		○
進路講演会				○		○		○
修学旅行		○		○	○	○	○	

通して将来のライフプランを考えることにより、自己を真剣に見つめ、将来の夢を育む契機となった。



3 課題

3年間を見通したキャリア教育の改善・充実をめざしたこれまでの取組の中で浮かび上がってきた課題は、「取組を生徒が学習活動や高校生活に生かせるようにする支援の充実」及び「地域との連携の充実」である。具体的には以下の3点である。

(1) 3年間を見通したキャリア教育(人生設計をからめ生きる力を養成)の有機的な構成・内容の見直し

キャリア教育推進委員会の定期開催による各行事の反省に基づく見直しの継続、進路調査、進路決定者調査、卒業生調査の回収率向上とその有効活用の検討。

なぜ学び、何のために働くのか(私たちはどのような社会や国・地域を作るのか)を生徒にどのように示すのが適切か。

(2) 保護者への進路情報の提供

進路説明会、講演会、分野別説明会、職業人講話、面接指導等への保護者の積極的な参加の呼びかけ、インターンシップへの協力、学校Webページの有効な利用の仕方。

(3) 在校生・卒業生・保護者に対する本校キャリア教育の検証(評価)に関する研究

意識の変容及び今後の課題を探る、各年次評価アンケートの実施(上級学校への進学や就職に対する目的意識は高まったか、学習意欲は高まったか、ライフプランが年次とともに高まったか)

イ 3年次生進路決定者に対するアンケートの実施(決定進路の満足度はどうか、課題研究に対する取組はどうか)

ウ 生徒、保護者、教員に対する評価アンケートの実施(本研究実施により意識がどのように変容したか)

4 おわりに

課題の解決をめざし、本校教育方針の再確認、「生徒に何を学ばせるのか」についての教職員の意志統一及び「本校のめざすべき生徒像」の確立に継続して取り組みたい。また、これらの課題解決に向けた取組として、引き続き課題探究学習の充実を図っていきたい。

個々の学校状況やその学校を取りまく環境は異なっている。再度本校キャリア教育の原点に戻って本校における進路指導の在り方はどうあるべきかを考えて取り組むことが大切である。立ち止まることなく攻めの姿勢を貫き通したい。そして生徒・保護者・地域と連携のとれた取組を今後も続けていきたい。

最後に、取組に対する多くの方々の御支援・御協力に感謝するとともに、この取組を通して、今こそキャリア教育の本質が問われており、このような時代にこそ夢を語り、生徒が夢をもち明るい未来を思い描くための学校づくりが大切であるとの想いを強くした。

キャリア教育全体計画

山口県立岩国総合高等学校 キャリア教育推進委員会

<p>生徒の実情</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 進路状況は大学、専門学校、就職が同程度であり、多様な進路である。 ○ 家庭学習の習慣化などの基本的な生活習慣の確立が困難な者が見られる。 <p>保護者の願い</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 平成20年度の学校評価アンケートによると、基本的な生活習慣の確立と充実したキャリア教育に対する期待が非常に強い。 	<p>めざす生徒像(校訓)</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 自立:自分で考え、自分で判断し、自己責任を持って行動し、21世紀をたくましく生きる力を身に付けようと努力する生徒 <p>学校経営目標</p> <p>【教育目標】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ たくましく生きる力の育成:社会の一員としての自覚を持ち、自ら学び、考えることを通して、進展する社会に主体的に対応できる力を養う。 ○ 個性豊かに生きる力の育成:一人ひとりの興味・関心や能力・適性を生かし、豊かな創造力を培い、生涯にわたって学習できる力を養う。 ○ 心豊かに生きる力の育成:人間や自然に対する思いやりや感動する心を育み、互いに理解し、協力し合うことができる力を養う。 <p>【チャレンジ目標】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 基礎・基本を重視した確かな学力の定着とキャリア・カウンセリングの充実で、希望進路の実現を図る。 ○ 社会規範を身に付けた、自立した生徒の育成を図る。 	<p>関連する教育法規等</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 教育基本法、学校教育法 ○ 学習指導要領 ○ 「キャリア教育推進の手引ー児童生徒一人ひとりの勤労観、職業観を育てるためにー」平成18年11月 文部科学省 ○ 「高等学校におけるキャリア教育の推進に関する調査研究協力者会議」平成18年11月 文部科学省 ○ 山口県教育行政の重点取組事項等について ○ 「キャリア教育学習プログラム」平成18年3月 山口県教育委員会
---	--	--

キャリア教育によって育む生徒像
夢や希望を持って自らの進路をたくましく切り拓く生徒

人間関係形成能力	情報活用能力	将来設計能力	意思決定能力
自他の理解能力 コミュニケーション能力	情報収集探索能力 職業理解能力	役割把握 認識能力 計画実行能力	選択能力 課題解決能力

キャリア教育指導目標

【生徒が自らの生き方を考え、将来に対する目的意識を持ち、自らの意志と責任で進路を決定する能力・態度の育成】

- 1 自ら課題を見付け、学び、考え、見直しをもって判断・行動し、課題をよりよく解決する資質や能力を育む。
- 2 課題解決的な学習活動を通して、自己に対する自信や誇りを持ち、自らの在り方生き方を追求し、主体的に進路決定ができる力を身に付ける。

【平成21年度重点目標】

- 1 キャリア教育の取組を生徒が学習活動や高校生活に生かすための指導の充実
- 2 地域との連携の充実

指導の螺旋過程 | 自己理解 | 進路情報の理解 | 啓発的経験 | キャリアカウンセリング(進路選択や職業意識発達への継続支援) | 追指導

各年次重点目標

1年次 (産業社会と人間)	2年次 (Wise Person 21)	3年次 (課題研究)
夢発見(夢を持とう!)	深化(夢をふくらませよう!)	挑戦(夢の実現に歩み出そう!)
自己をよりよく理解し、自己の夢や希望を明確にして、学ぶことや働くことを理解し、学力の向上と進路実現をめざしたライフプランを立案する。 (4つの柱(自己理解、職業を知る、上級学校を知る、ライフプラン作成)及び「沖繩修学旅行」事前研究の充実)	上級学校や職業などに関する進路情報を収集し、幅広い進路・職業、生き方への理解の深化をはかり、明確な進路の希望や計画を吟味し、実現しようとする態度を養う。 (修学旅行における学習をはじめ様々な視点から現代の諸問題へのアプローチの充実)	希望する進路の情報を確かめ、その根幹となる人生観や勤労観、職業観を確立し、自己にふさわしい職業や学校を選択するとともに、その進路実現のため積極的にチャレンジする。 (課題発見や解決のための力を身に付け、各自の進路に応じた自己実現を図る)

教科・領域などにおける指導内容

各教科	特別活動	総合的な学習の時間	その他の教育活動
<ul style="list-style-type: none"> ○ 授業で達成感・達成感・自己存在感を育む ○ 将来の職業生活に必要な基礎的知識・技能の習得を支援する。 ○ 授業を大切にし、目標を持って計画的に学習できるようにする。 ○ 自己の能力・適性を知り、それを伸ばさせる能力を培う。 	<p>ホームルーム活動</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 生徒一人ひとりが自己有用感を持ち活動できるクラスづくりをする。 ○ 個々の生徒の進路課題について進路相談を適宜行い、適切な進路選択に結びつくようにする。 <p>学校行事</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 奉仕的行事での体験や学校諸行事の自主的・自発的な活動を通して、興味や関心を高め、自己をよりよく理解し、それをさらに伸ばさせようとする主体的態度を育てる。 <p>生徒会活動</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 学校生活の充実・改善を図る活動やボランティア活動を通して個性の伸長や社会性を高める。 ○ 人間関係形成能力を高める場として重要な部活動における積極的な活動を促す。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 自己を見つめ、現在や将来について考え、将来の進路を主体的に選択し、生きがいのある生活を実現しようとする生き方について考えることができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 適切な教育相談を通して、個々の個性を生かす支援を行う。 ○ 保護者・地域社会・中学校・上級学校など関係機関との連携及び教育環境の充実を図り、キャリア教育連携ネットワークの構築を進める。

校内推進体制

キャリア教育カリキュラム関係	ガイダンス・カウンセリング	進学・就職指導	進路講演会・進路講話	インターシップ・企業見学
<ul style="list-style-type: none"> ○ キャリア教育推進委員会により、全校体制でキャリア教育を推進 ○ キャリア教育の中核である産社、総合学習、課題研究のプログラムの充実 ○ 教科、科目によるキャリア教育関連事項の整理・充実 	<ul style="list-style-type: none"> ○ カウンセリング週間を利用しての担任団による面談 ○ キャリア・カウンセラーによる進路面談 ○ 各教科による科目選択ガイダンス 	<ul style="list-style-type: none"> ○ キャリア教育の仕上げとしての進学・就職指導の充実 ○ 上級学校等による進路説明会の実施 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 夢を持ち実現するための職業人による講話 ○ 現代の諸問題を考える大学等による出前講義 ○ 学問分野・職業分野を理解するための出前講義 ○ 岩国市や山口県をより深く理解するための講演 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 地域の教育力を生かした職場体験学習や企業見学の充実 ○ 進路選択に役立つ修学旅行の実施

平成21年度 キャリア教育年間計画

月	一般の行事	テスト・検定他	1年次生	2年次生	3年次生
4	ピアセミナー(1年) 進路説明会(2,3年) 修学旅行委員会① キャリア教育推進委員会		進路作文 進路希望調査① 学習状況調査① 科目選択教科ガイダンス(全体) ピアセミナー 進路だより 上級生講演(産社) 進路適性検査	科目選択教科ガイダンス 進路希望調査① 学習状況調査① 進路説明会(分野別) 進路だより 進学課外開始	進路希望調査 進路課ガイダンス 分野別説明会① 進路説明会(学校別) 個人面談(就職希望者) 進学課外授業開始
5	PTA総会 第1期考査 修学旅行委員会② カウンセリング週間①	基礎力診断テスト (1,2年全)	第1回講演会 進路だより(職業) 職業について	科目選択個別ガイダンス 進路情報を集めよう	分野別説明会②③ 職業指導 進学・就職説明会(保護者対象)
6	県高校総体 修学旅行委員会③ 公開授業週間 カウンセリング週間②	実用英語技能検定 日本漢字能力検定 実用数学技能検定 全商簿記実務検定 ハングル能力検定	進学課外開始 進路だより(企業訪問報告) 企業見学(岩国近郊) 同発表会	科目選択個別ガイダンス 進路情報を集めよう 講演会 進路だより(企業訪問報告)	分野別説明会④ 面接礼法指導 就職卒業生講話 教育実習生講話 職業指導 小論文課外開始
7	第2期考査 保護者会(1,2年) 保護者会(3年進学) 進学課外(全) 夏期職業指導(3年)	全商ワープロ実務検定 食物調理検定 被服製作検定 実用英語技能検定(2次)	進路だより(夏休み直前指導) 進学模試	基礎力診断テスト事後指導 修学旅行に向けて 進路だより 進学模試	就職個人面接練習 夏期職業指導(前期) センター試験説明会① 講演会(面接指導) 応募前職場見学
8	保護者会(3年就職) 中学生体験入学 インターンシップ(2年) 進学課外(全) 夏期職業指導(3年)		希望進路を調べよう	分野別進路レポート インターンシップ	分野別説明会⑤ 三者懇談会 夏期職業指導(後期) 面接指導(個人)
9	総合祭 運動会 進路説明会(全)	全商情報処理技能検定	進路希望調査② 学習状況調査② 第2回講演会 進路説明会(模擬授業) 職場体験学習にむけて	進路希望調査② 学習状況調査② 修学旅行に向けて 進路説明会(模擬授業)	進学推薦願提出締切り センター試験説明会② 面接指導(集団) 進路説明会 就職選考試験開始
10	修学旅行 インターンシップ(1年) カウンセリング週間③ 修学旅行委員会④ 第3期考査 進路指導研修(PTA)	実用英語技能検定	職場体験学習 職場体験学習発表会 進学模試	修学旅行 科目選択個別ガイダンス 進学模試	職業指導(内定者指導) センター試験出願 マナー講習会 進学推薦入試開始
11	公開授業週間 総合学科中国大会 カウンセリング週間④	実用数学技能検定 全商ワープロ実務検定 ハングル能力検定 実用英語技能検定(2次)	学校見学(広島・山口) 学校見学発表会 進路だより(進学について) 進路だより(就職試験受験報告)	社会問題をクラスで研究 進路だより(就職試験受験報告)	ライフプラン作成 分野別説明会⑥
12	第4期考査 進路講演会(全) 保護者会	食物調理検定 被服製作検定	進路講演会 進路だより(進学推薦報告) 進路だより(冬休み直前指導)	進路講演会 進路だより(進学推薦報告) 進路だより(冬休み直前指導)	進路講演会 保護者会(受験校決定) センター試験説明会③④ 推薦入試合格者全体指導
1	第5期考査(3年) キャリア教育推進委員会 プレゼンテーションステージin総合	実用英語技能検定 日本漢字能力検定 全商情報処理技能検定 全商簿記実務検定	進路希望調査③ 学習状況調査③ 第3回講演会 ライフプラン作成 進学模試	進路希望調査③ 学習状況調査③ 社会問題をクラスで研究発表会 進学模試	職業指導(マナー講習) センター試験説明会⑤ 分野別説明会⑥ 一般入試受験者指導
2	進路指導委員会 進路決定者調査	基礎力診断テスト (1,2年全) パソコン入カスピード 検定 実用英語技能検定(2次)	進路だより(1年間の振り返り) 3年生に聞く合格体験 ライフプラン発表会	課題研究へ向けて 上級生講演会 ライフプラン作成	
3	卒業式 第5期考査(1,2年) 進路講演会(1,2年) 学力検査 入学予定者登校日		基礎力診断テスト事後指導 分野別進路講演会 進路だより(春休み直前指導)	分野別進路講演会 進路だより(春休み直前指導) 基礎力診断テスト事後指導	